

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 村武 まゆみ

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和5年11月25日(土)～11月26日(日)

2. 調査研修内容

- (1) 大森さくら保育園、学童の取組み視察
- (2) しまね自然子育てフォーラム 2023 研修参加
 - ① 基調講演「こども基本法でまんなか社会を～こどももおとなも自分らしく生きる～」
長野県山ノ内町教育長 竹内延彦
 - ② 特別講演「乳幼児期、学童期、思春期、それぞれにおける「遊び」の力」
NPO 法人プレーパークせたがや 理事 天野秀昭氏
 - ③ 対談 竹内氏×天野氏×武田祐子氏(大田市教育長)
 - ④ 分科会 「こども基本法に根差した実績とは」
長野県山ノ内町教育長 竹内延彦

3. 視察等場所

- (1) 大森さくら保育園 大田市大森町ニ 4-4
- (2) しまね自然子育てフォーラム 2023 国立三瓶青少年交流の家

大田市山口町山口 1638-12

4. 調査経費 5,300 円

研修参加費 5,300 円



【視察・研修の概要】

(1) 大森さくら保育園、児童クラブの取組み視察

保育園、学童ともに大森町の古民家を改装。

- ・保育園方針 「ともに暮らし ともに育み 子育てを総合的に支援する」
- ・児童クラブ渡辺家

理念 ともに暮らし、ともに育み、幸せを自分の手で生み出せる人間へ

方針 子どもたちが、仲間と暮らしをつくっていけるように支援します

仲間と共に多様で豊かな時間を過ごせるように支援します

ひとりひとりが自分の力を発揮できるように支援します

保護者同士が繋がり、地域とともに暮らし、子育てできるように支援します

(2) しまね自然子育てフォーラム 2023

① 基調講演「こども基本法でまんなか社会を～こどももおとなも自分らしく生きる～」

- ・子ども観を問い直す（こども支援やこどもの主体の学びを支えるのはこどもへの大人のまなざし）
- ・こどもの自主性や主体性はやりたいことの中でしか育たない
- ・思春期までに取り組みたいこと
教科学習より心の健康、自信と現実感の得られる生活環境づくり、合意の習慣を通じた自律と社会性の育成
- ・こどもは一つ一つ違うタネ
- ・川崎市子どもの権利に関する条例
- ・子どもも先生もしあわせに
- ・おとなの生き方が問われている
- ・教育の原点 学びの主体は誰？

② 特別講演「乳幼児期、学童期、思春期、それぞれにおける「遊び」の力」

- ・心が病んでいるこどもが多い。自分でも気がついていないこどもが多い。その中で思いっきり遊ぶことで気がつく。
- ・やりたいことを何度でも挑戦することに価値がある。できるできないの結果ではなく、プロセスが大事。
- ・乳幼児期は大人の準備時期ではなく、その子の人生の礎、どんな経験、人に会うか。

③ 対談 竹内氏×天野氏×武田祐子氏（大田市教育長）

- ・大田市では山村留学センターを不登校支援の場にしていく。

④ 分科会 「こども基本法に根差した実績とは」

長野県山ノ内町教育長 竹内延彦

- ・これからの学び 教えない・与えない教育
- ・育成すべき資質・能力
- ・遊び込む経験が多い方が「学びに向かう力」は高い
- ・幼児期が人生の根っこ
- ・自然保育がめざす姿、育つこどもの姿

○所感

以前から研究している自然子育ての視察、研修に参加し、浜田市でも子どもの育ちをしっかりと考える必要があると感じた。子どもの主体性を育むための方法など、特に幼児教育の現場の先生が具体的に学ぶ必要がある。また、浜田市としてどう進むかしっかりと検討する必要がある。このままでは浜田市が取り残されると大きな危機感を感じた。

大森さくら保育園と児童クラブの視察をし、保育も素晴らしいが、子どもを育むことをまちづくりに取り込んでいることが素晴らしい。人口も増えており、移住者と地元住民が一緒になり、自分たちで町を作っていくという意識が育まれている。

